

## Proteus 1-Step Batch Plus Midi Spin Columns

### プロトコール

【品番】 GEN-1SB08P

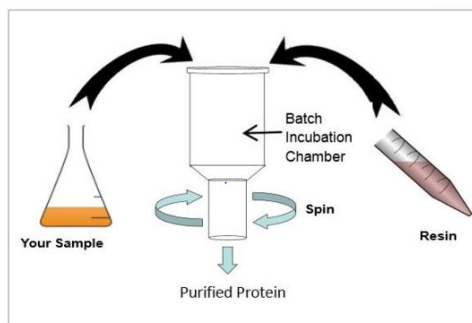
【キット内容】

- ・ Proteus spin Column カラム (20 mL 容量：スウィングバケットローターの場合)
- ・ 2 種類のキャップ
  - 1- 透明のプッシュキャップ・・・プロトコール上のすべての遠心ステップで使用します。
  - 2- 黄色/青のスクリューキャップ・・・インキュベーションステップのみに使用します。
- ・ 50mL 遠心チューブ

【必要な試薬・設備】

- ・ 0.2  $\mu$ m シリンジフィルター
- ・ 50 mL 遠心チューブ
- ・ 50 mL 遠心チューブを遠心可能な遠心機 (スウィングバケットローターが望ましい)
- ・ 各種バッファー (平衡バッファー、洗浄バッファー、溶出バッファー)
- ・ UV 吸光度測定用石英キュベット
- ・ UV/VIS スペクトロメーター
- ・ アフィニティーレジン

【サンプル精製模式図】



【推奨プロトコール】

以下に記載する遠心スピードと遠心時間はレジンベッドボリュームが 0.25-1mL のものに最適化されています。それ以上のベッドボリュームの場合は、遠心時間を長くする必要がある可能性があります。

### レジンの平衡化

1. 適切な量のレジンスラリーをスピнкаラムバレルのインキュベーションチャンバーに入れます。750×g で 5 分遠心し(透明のプッシュキャップを使用)、レジンスラリー中のエタノールを出来る限り取り除きます。

Note：エタノールは Batch incubation chamber の Self Seal™メンブレンのシーリング特性を干渉します。

2. 15 mL の平衡バッファーを加え、750×g で 5 分 20 秒遠心し(透明のプッシュキャップを使用)、平衡化します。この操作を 1 回繰り返して下さい。

Note: スピнкаラム 1 つで精製を行う場合は、同じ重さのチューブでバランスをとって遠心してください。

### サンプルの清澄化

3. 0.2µm シリンジフィルターを使って、サンプルをフィルタリングします。

Note：他のすべてのクロマトグラフィーと同様に、カラムにロードする直前に、0.2 µm フィルターにサンプルを通すことが重要です。

### サンプルローディング

4. スピнкаラムバレルを新しい 50mL 遠心チューブに移し、サンプルをロードします。最大サンプルボリュームは 20mL です。黄色または青色のスクリューキャップで固く蓋を閉め、2-3 回、サンプルとレジンを転倒混和させます。チューブを標準的なチューブローターなどにセットし、1-3 時間インキュベートします。
5. インキュベーションの後、キャップを黄色/青色のキャップから透明のプッシュキャップに変え、750×g で 10 分遠心し、溶出液を集めます。

### 洗いのステップ

6. スピнкаラムバレルを新しい 50mL 遠心チューブにセットし、20mL の洗浄バッファーを加えます。透明のプッシュキャップを付け、非結合タンパク質を洗うために 750×g で 5 分遠心します。このステップを繰り返します。

### 精製サンプル

7. スピнкаラムバレルを新しい遠心チューブに入れ、最大量 10mL の溶出バッファーでターゲットタンパク質を溶出させます。遠心条件は、750×g で 5 分です。溶出液はターゲットタンパク質が含まれているため、その後の用途に応じて保管してください。

ご不明の点は下記までお問合せ下さい。

株式会社エムエステクノシステムズ

●東日本 TEL (03)3235-0673 FAX (03)3235-0669

●西日本 TEL (06)6396-6616 FAX (06)6396-6644

e-mail: technosales@technosaurus.co.jp